

SAS (睡眠時無呼吸症候群) の診断から治療まで ～ご自宅での検査からCPAP治療までの流れ～

1 受診・問診



- いびき、日中の眠気、集中力の低下、高血圧などの症状を確認します。
- SAS (睡眠時無呼吸症候群) の可能性を評価します。

2 自宅で簡易睡眠検査 (検査キットを専門業者がお送りします)



- ご自宅で寝ている間に、いびき、呼吸の状態、血中の酸素の値などを記録します。
- 検査キットは専門業者からご自宅へお送りします。

検査終了後、
専門業者に返却



3 AHI (無呼吸低呼吸指数) が 30以上の場合



AHI 30以上

CPAP治療へ

4 AHIが5～29で症状がある場合

AHI 5～29

かつ、いびき、日中の眠気、
高血圧などの症状がある場合



精密検査 (PSG検査) へ

5 精密検査 (PSG検査)

睡眠中の脳波、眼球の動き、筋肉の動き、心電図、呼吸、酸素の状態などを詳しく評価します。

在宅PSG検査



ご自宅でより詳しい検査を行います。
※検査機器は専門業者からご自宅へお届けします。

または

入院PSG検査 (病院へ紹介)



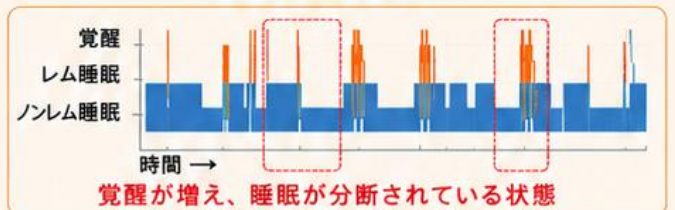
一晩、病院に入院し、専門の検査室で
詳しい検査を行います。

6 検査結果の判定

PSG検査の結果、**AHI 15以上**で
かつ、睡眠の分断化 (中途覚醒の増加など) が
みられた場合

CPAP治療へ

睡眠の分断化の例



覚醒が増え、睡眠が分断されている状態

7 CPAP治療の開始



- ✓ 医師から治療の説明と機器の使い方の指導を受けます。
- ✓ 毎晩CPAPを使用することで、無呼吸や低呼吸を防ぎ、睡眠の質を改善します。
- ✓ 定期的を受診し、治療効果や機器のデータを確認します。

保険自己負担額の目安

約4,500円程度
(3割負担の場合)

※金額は目安であり、検査内容や施設により異なる場合があります。

※個人の状態によって流れは異なる場合があります。ご不明な点はお気軽に医師・スタッフにご相談ください。

自由が丘内科循環器科クリニック